

Data(2013年6月現在)

所在地：〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1

スタッフ：西山悦子(教授)、井口理^{あや}(助教)、吉野純子(助教)、松浦志野(助教)

URL <http://www.sophia.ac.jp/>



上智大学

総合人間科学部看護学科地域看護学領域

History and Now

どのような機関なのでしょう？

上智大学の歴史は、1549年に聖フランシスコ・ザビエルが来日した時まで溯ります。ザビエルは日本の文化水準がきわめて高いことを理解し、「日本の都に大学を」との構想を抱き、その夢は360余年後の1913年に上智大学として実現しました。今年は開学100周年を迎えます。上智大学は神学部、外国語学部、理工学部など8学部をもつ大学です。看護学科は、看護教育60年の歴史をもつ聖母学園と合併し、「他者のために、他者とともに生きる」という教育理念の実現に貢献できる人材育成をめざした「総合人間科学部」の中に、2011年4月に新設された学科です。

Education

どのような教育をしていますか？

看護学科では看護の中核をなす「ケアリング」「クリティカル・シンキング」「ナーシングスキル」の教育に力を入れています。考え抜く力、自ら問いを立て探求する力を駆使し、主体的に学習を推進する力を培うことをめざします。また出会う1人ひとりの価値観と経験に敬意を払い、相手のよいものを引き出せる「ヒューマンケアリングとしての看護実践力」の習得をめざします。

8月末からいよいよ初めての「在宅看護実習」

が、来年度からは保健所・保健センター実習がスタートいたします。上記の目標を達成できるように指導の方略などについて知恵を絞り準備を進めています。

Research

どのような研究活動を行っていますか？

地域住民と実践活動に従事する保健師・看護師に寄与できることをめざし、対象者のもつ強みに注目した健康支援の戦略、行政保健師の仕事環境とメンタルヘルス、ワーク・エンゲイジメント、地域生活や文化の視点でとらえた地域に根づいた地域保健活動のあり方、胃ろう造設に伴う意思決定および倫理的課題、家族にとっての在宅看取り体験などに関する研究を行っています。

Collaboration

保健活動の現場とのつながりは？

現在は、主に地域貢献という形で大学と地域がつながっています。学内にはボランティア・ビューローという学内外との連携窓口となる組織があり、東日本大震災復興支援ボランティア、学内清掃、小学校での遊びなどのプログラムに学生が任意で参加できます。また病院や地域において、療養する方やそのご家族に寄り添う気持ちを大切に「私たちにできること」を看護学科の学生と一緒に、教員として模索しながら活動しています。

ひとこと

地域看護学領域では、保健師教育のほか、在宅看護学、養護教諭教育の役割も担います。看護を提供する場は異なっていますが、教員個々の強みを活かして、地域や集団の特性に対応できる学生を育てていきたいと考えています。……西山

あなたの研究室を紹介してください！ 保健師ジャーナルでは、このページに登場してくださる研究室(保健師教育に関わる講座・分野・領域)を募集中です。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりを紹介してください。

応募について ●まず電話、FAX、E-mailにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。

連絡先 ●医学書院「保健師ジャーナル」編集室 ☎ 03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 ✉ hokenshi@igaku-shoin.co.jp